

芸工 インターナショナル オフィス

令和4年度活動報告

2023.3.22



Faculty of Design
Graduate School of Design, School of Design
Kyushu University



International Office
Faculty of Design

目次

組織

組織図

芸工インターナショナルオフィス 概要

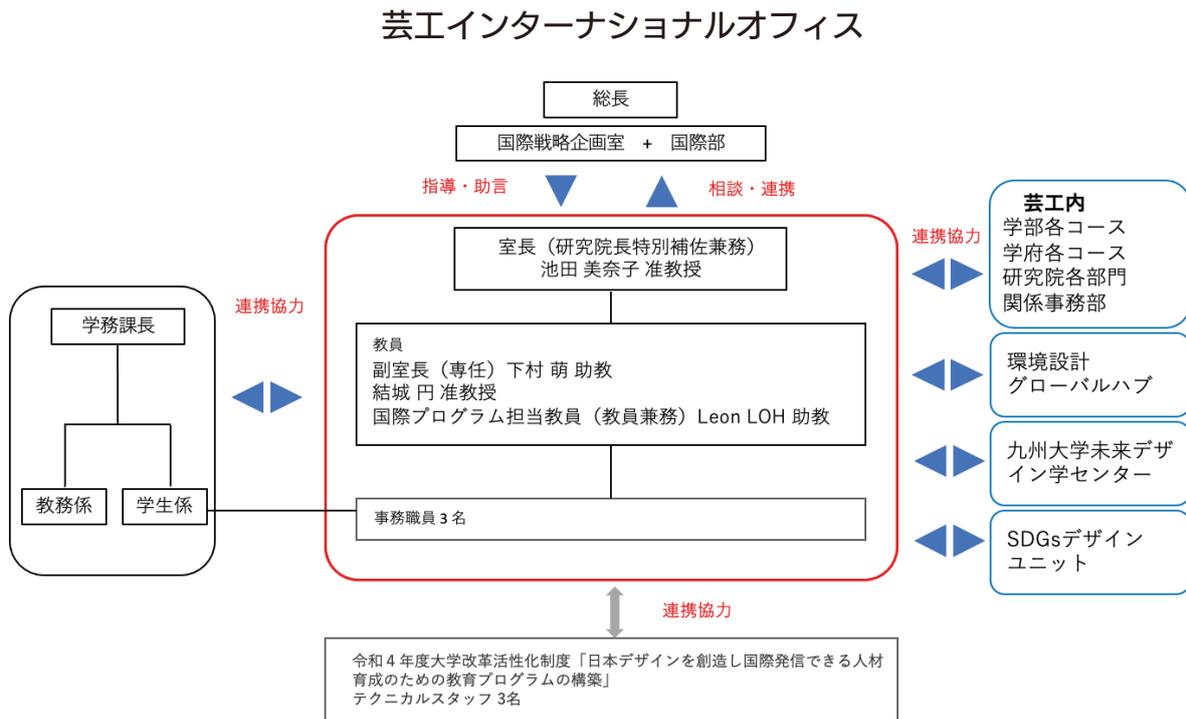
はじめに

主な活動

- 1 国際連携教育支援事業
- 2 英語による教育の支援
- 3 様式の英語化
- 4 各種予算申請
- 5 国際パートナーの開拓
 - 5.1 ダブルディグリープログラム（DD）の調査・締結検討
 - 5.2 海外大学関係者の表敬訪問対応
 - 5.3 海外大学への訪問
 - 5.4 部局間国際交流協定新規締結、更新のサポート
- 6 国際広報活動の充実
 - 6.1 部局活動の海外発信
 - 6.2 国際広報活動：各種ウェブサイト、SNS運営、SNS広告・動画発信
 - 6.3 英語による修士課程入試サポート
 - 6.4 留学生リクルート
- 7 芸術工学インターナショナル・ウインタースクール 2022
- 8 国際プログラム・海外留学
 - 8.1 国際プログラム（派遣）
 - 8.2 オンライン交換留学申請 DX（受入）
 - 8.3 交換留学実績
- 9 留学生サポート
 - 9.1 留学生面談
 - 9.2 芸工サポーター運営、国際交流イベント実施
 - 9.3 帰国留学生ネットワークの構築
- 10 国際化への取り組み：
大学改革活性化制度「デザインと日本」英語による科目シリーズ開講
 - 10.1 概要
 - 10.2 「デザインと日本／日本デザインの理解A」（2022年度前期）
 - 10.3 「デザインと日本／日本デザインの理解B」（新規・2022年度後期）
- 11 国際化への取り組み：留学生向けスタジオプロジェクト開講
 - 11.1 産学連携国際演習科目：スタジオプロジェクト・コース融合プロジェクト
国際交流イベントのデザインwithキッサニア福岡
 - 11.2 国際演習科目：スタジオプロジェクトⅠ-A、Ⅱ-A
(Inter-Cultural Dialogue 1、2)

実績要約

組織図



芸工インターナショナルオフィス 概要

九州大学は世界に開かれた大学として、国際感覚豊かな人材の育成を目指しており、その中で大学院芸術工学研究院（大学院芸術工学府・芸術工学部）は、研究・教育の両面で積極的に国際交流活動に取り組んでいる。芸術工学研究院が目指す国際化構想を実現するために国際関係事業の企画・立案などを行う組織として、2020（令和2）年度に芸工インターナショナルオフィスが設置された。

芸工インターナショナルオフィスの主な役割は、部局内の研究活動や教育を海外に精力的に発信するとともに、海外協定校の開拓、国際プログラムの設置・運営、海外大学との共同研究教育やデザインプロジェクトを推進することである。従来から行ってきた外国人研究者・留学生受入れや海外派遣をより積極的に支援するとともに、生活面の充実にも力を入れ、大橋キャンパス内では、各国の留学生と部局の教職員および学生との交流活動も活発に行われている。

教職員向け

国際交流のご相談は

芸工インターナショナル

オフィスまで

大橋キャンパス管理棟3F

International Office

for faculty and staff

Contact us if you have any international inquiry.

国際協定について知りたい

国際ワークショップをサポートしてほしい

英語授業の方法について知りたい

海外の学生をリクルートしたい

海外からの来客を対応してほしい

海外へ情報発信したい

国際交流に関するお問合せ

芸工インターナショナルオフィス

092-553-4652

intl-ofc@design.kyushu-u.ac.jp

We provide you with information regarding how to initiate an international cooperative agreement.

We support the coordination of international workshops.

We offer support to faculty who teach specialized courses in English.

We lead overseas recruitment activities and the conversion of international students.

We host inward visits from international stakeholders.

We implement promotion plans for countries.

▲ 芸工インターナショナルオフィス 教員向けポスター

はじめに

今年度の春以降、新型コロナウイルスに伴う水際対策の緩和や、大学院改組による新たなカリキュラムが始まったことで、海外からの留学生の入学や、交換留学生の受け入れや派遣が再開した。大学間の国際交流が徐々に正常化しつつあり、芸術工学部局にも久しぶりに多くの国から研究者・留学生が集まり国際色豊かなキャンパスとなった。芸工インターナショナルオフィスのスタッフも増え、活気に溢れた環境の中で、部局の国際化の推進に尽力した。当オフィスでは、年度計画に基づき、(1) 国際パートナーの開拓、(2) 国際化プログラムの開発・運営、(3) 国際化の環境整備、(4) 国際向け情報発信のクオリティコントロール、(5) 国際関連予算確保などの国際支援を行ってきた。なかでも、英語で授業を行う「デザインと日本A、B」の開講や、留学生と日本人学生が共同で履修できる複数の国際演習科目、スタジオプロジェクトを開講したことは、国際教育の面で高い効果を上げている。さらに、アジア諸国の学部生・大学院生を日本に招へいする短期留学プログラム「芸術工学インターナショナル・ウインタースクール2022」の企画・運営を重要なミッションと位置づけ、これら全ての戦略的海外リクルート・広報活動により、世界の優秀な参加学生の大多数が本学を将来の留学先として希望するに至ったのは大きな成果である。

今後の課題は、大橋キャンパスのグローバル文化の醸成を中心に、部局間学生交流協定の新規開拓、ダブルディグリープログラムの実施・展開、留学生の向けインターンシップ先開拓、国際的に情報発信できる人材を育成するスタジオプロジェクト「デザインと日本C」の新設、国際連携スタジオワークショップ・アートイベントの実施など、ニューノーマルの時代の課題に適切に対応しつつ、国際化の推進を持続・発展させるための運営支援体制・実践ノウハウを蓄積し、その成果を積極的に学内外、国内外に積極的に発信することである。

本報告書は、2022（令和4）年度の芸工インターナショナルオフィスの活動を総括し、今後の課題を明確にすることで、部局の国際化のさらなる強化に寄与することを目的として作成したものである。また、日頃より芸工インターナショナルオフィスへのご理解、ご支援を頂いている皆様に対し、ここに感謝の意を表すものである。

国際交流のご相談は芸工インターナショナルオフィスまで

Please contact the International Office, Faculty of Design,

国際交流したい
イベント企画・運営、茶会等/
多言語会話など
I want to communicate
better with other
international students
by organizing social activities,
multilingual exchange events
or anything fun on campus.

留学について知りたい/
留学経験をシェアしたい
I want to know more about
studying abroad.
I want to share my overseas
experiences with
fellow students.

国際プログラム
について知りたい
I want to know
more about the
"International Program."

日本での
生活や学業で
困っていることがある
We have support systems
and networks to
help you through
any challenges you
face here.

国際交流に関するお問合せ Inquiry related to international concerns
芸工インターナショナルオフィス International Office, Faculty of Design, Kyushu University
大橋キャンパス管理棟207 Renovation Building 2F in Daishi Campus
☎092-553-4652 ✉intl-ofc@design.kyushu-u.ac.jp

if you have any international inquiry.

▲ 芸工インターナショナルオフィス
学生向けポスター

1 国際連携教育支援事業

国際連携教育（海外大学との共同授業、ワークショップ、サマースクール、オンラインイベント等）により、派遣提携先の開拓や留学生リクルーティングへと結びつく継続的な取り組みに対し、芸術工学部局が独自に行う支援事業。

目的

部局の目標の一つである「教育の国際化」を実現するため、教育の質向上と国際的に活躍できる人材育成を実現するための取り組みを支援する。

採択数

4 件

- 井上 朝雄 准教授
アジアにおける歴史的都市の持続的発展を担う人材育成のための国際交流型環境・遺産デザイン教育研究プログラム
- 田村 良一 教授
台湾成功大学とのダブル・ディグリープログラム導入に向けた整備
- 平井 康之 教授
グローバルデザインプロジェクト
- 田上 健一 教授
キャンベラ協定に基づく認定プログラム間のEMI型教育研究交流

2 英語による教育の支援

大学院教育の二言語化を促進するための芸術工学部独自の部局内公募事業

概要

今年度からスタートした学府改組に伴い、英語による教育を充実させ、世界の優秀な学生が集まることを目指す。英語での授業の充実を目的とした授業資料や教材作成のための翻訳・校正を支援した。

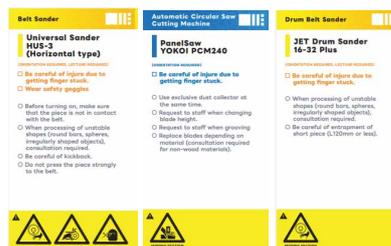
採択数

2件

- 工作工房の安全教育コンテンツ英語化
- 日英バイリンガル授業のサポート



▲ 日英バイリンガル 教材



▲ 中、右 | 工作工房 安全教育コンテンツ英語化例



3 様式の英語化

外国人留学生・研究者向けの英語支援

目的

外国人留学生・研究者の受入れ体制整備の一環として、事務部が所管する学生・研究者に関わる事務様式を英語化する。

実施内容

学務課：14件（大学院学生便覧英語版、研究生入学案内等）

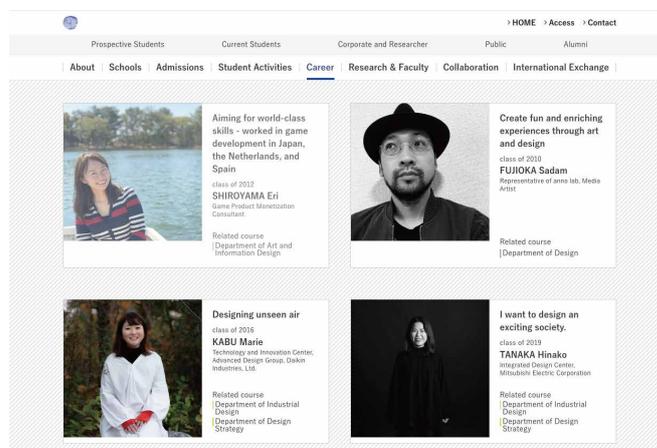
総務課：3件（キャンパス案内、芸工公式ウェブサイト卒業生の声等）



▲ 大学院学生便覧英語版



▲ キャンパス案内英語版



▲ 芸工公式ウェブサイト卒業生の声

4 各種予算申請

国際関係の様々な外部資金申請や申請手続きのサポート

- ・ スーパーグローバル大学創成支援（SHARE-Q）「提案型事業枠」学部・大学院
- ・ JASSO海外留学支援制度 世界的高度デザイン系人材を育成する芸術工学部国際プログラム（派遣）
- ・ JASSO海外留学支援制度「芸術工学インターナショナル・ウィンタースクール」（受入）

5 国際パートナーの開拓

海外の教育・研究機関との人材交流、研究交流を発展させるために、世界各国の大学と学術交流、学生の海外留学を促進する。

https://www.gg.design.kyushu-u.ac.jp/current_students_category/partner-universities



▲ 詳細はこちらへ

5.1 ダブルディグリープログラム (DD) の調査・締結検討

九州大学と海外協定校の両大学で学び、それぞれの必要要件を満たす学生が、修了時に両大学の学位を取得することができるプログラム締結に向けた取り組みを行っている。

今年度は、総合理工学府のキャンパスアジアプラス事務局や、千葉大学にヒアリングを行い、締結に向けたノウハウを調査した。現在、田村 良一 教授が中心となり、国立成功大学（台湾）と修士課程のダブルマスターディグリープログラム (DD) の2024年新規締結に向けて準備を進めている。協定締結に向け、3月に国立成功大学を訪問し、基本方針等について協議した。今後も、学務課をはじめとする部局内の関連部署と協議・情報共有しながら、提携に向けて取り組む予定がある。

5.2 海外大学関係者の表敬訪問対応

研究院長訪問、今後のコラボレーションについての会議、キャンパスツアー実施など

2022年	8月4日	クイーンズランド大学（オーストラリア）
	10月24日	HAN応用科学大学（オランダ）
	11月4日	明治大学・九州大学研究交流発表会 2022
	11月7日	アムステルダム応用科学大学（オランダ）
2023年	2月6日	環境設計グローバル・ハブ さくらサイエンス短期受入国際研究・教育プログラム （アジア）
	3月9日	ニュー・サウス・ウェールズ大学（オーストラリア）
	3月10日	ダルムシュタット科学技術大学（ドイツ）

5.3 海外大学への訪問

九州大学アジア・オセアニア研究教育機構 Q-AOS
タイ王国公式訪問団

訪問日程

2023年 3月12日～16日

訪問大学

マヒドン大学、チュラーロンコーン大学、泰日工業大学、カセサート大学、タマサート大学

活動内容

新規パートナー開拓、活動紹介、KYUDAI NOW 研究報告会発表



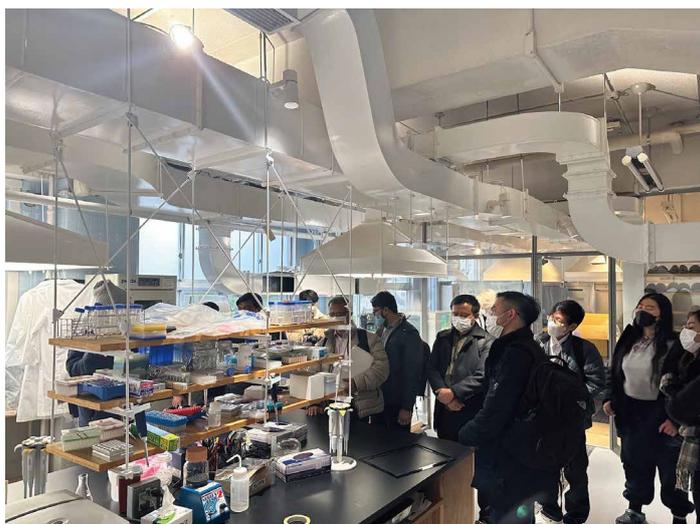
▲ KYUDAI NOW ポスター

5.4 部局間国際交流協定新規締結、更新のサポート

令和4年度2月末の協定校数 35校

令和4年度協定変更状況：

新規協定	締結済3件	OCAD大学 (カナダ)
		リーディング大学 (バングラデシュ)
		HAN応用科学大学 (オランダ)
	予定2件	東華大学 (中国)
アンハルト応用科学大学 (ドイツ)		
協定更新	更新済 9件	NHLステンデン応用科学大学 (オランダ)
		アムステルダム応用科学大学 (オランダ)
		東西大学校 (韓国)
		国立成功大学 (台湾)
		大連理工大学 (中国)
		ヘント大学 (ベルギー)
		ボンガバンデウ・シェイク・ムジブル・ラーマン農業大学 (バングラデシュ)
	香港高等教育科技学院 (香港)	
	進行中 2件	南洋理工大学 (シンガポール)
北京理工大学 (中国)		
締結終了	2件	韓国産業技術大学校 (韓国)
		ヌサンタラ・マルチメディア大学 (インドネシア)



▲ さくらサイエンス短期受入国際研究・教育プログラム
キャンパスツアー実施風景

6 国際広報活動の充実

芸術工学部局の様々な活動の魅力を積極的に発信する。海外関係者や入学希望者と情報交換しながら良好な関係を築き、信頼されるコミュニティーづくりを目指す。

6.1 部局活動の海外発信

- ・ 芸術工学部局国際ネットワーク（海外大学関係者）メーリングリスト更新
- ・ 国際交流協定校、関係者への広報発信：計3回、720名（延べ人数）
- ・ 年間活動報告書のオンライン配布

6.2 国際広報：各種ウェブサイト、SNS運営・広告、動画配信

ウェブサイト

- ・ 芸術工学部公式ウェブサイトへの記事投稿（日英併記）
- ・ Geiko Global ウェブサイトの英語ページ拡充
- ・ 学生交流協定校への交換留学ファクトシートの配布：26校

SNS

芸工インターナショナルオフィスのInstagramフォロワーを増やし、認知度を高めることで、海外ソーシャルメディアのプレゼンスを向上させた。

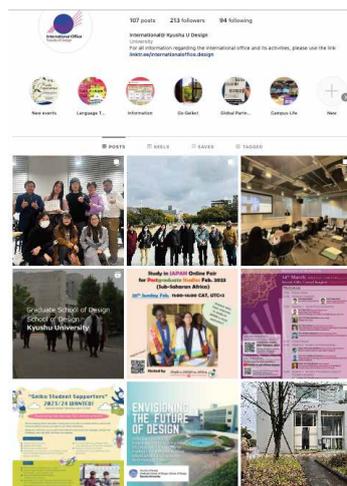
- ・ 九州大学公式SNS（Facebook, Twitter）への日英記事投稿
- ・ 芸工インターナショナルオフィスのSNS（Facebook, Instagram）による英語での情報発信
- ・ より人目を引く、伝わるデザインの投稿画像を作成



▲ Facebook



▲ Instagram



▲ Instagram画面

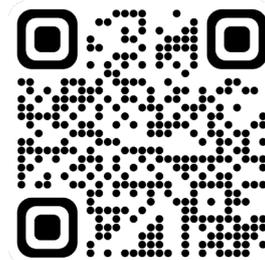


▲ SNS広報用画像

動画

大橋キャンパスでの教育活動を英語で紹介する動画を編集し、ソーシャルメディアに最適化することで、知名度とエンゲージメントを向上させた。

- ・ 教育施設紹介ビデオ作成：3本(大橋キャンパス、音響設計コース、人間生活デザインコースの関連施設)
- ・ 英語授業紹介：デザインと日本A、デザインと日本B、国際交流イベントのデザインwithキッサニア福岡、活性化ワークショップ
- ・ 芸術工学インターナショナル・ウインタースクールの記録動画(ダイジェスト版)を制作・芸術工学部の公式Youtubeチャンネルに公開



▲ 芸術工学部
公式Youtubeチャンネル

その他の成果物

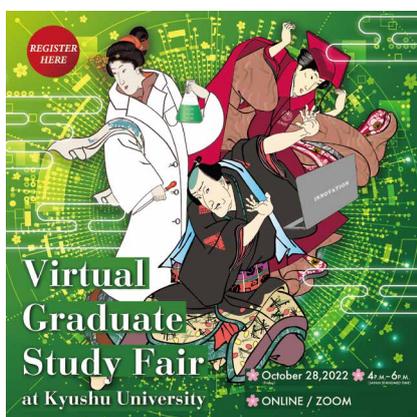
- ・ 芸術工学インターナショナル・ウインタースクールのビジュアルアイデンティティ(VI)、ロゴ、各種グッズをデザインを作成した
- ・ 在学生(特に留学生)に対して、デザイン、印刷、動画撮影・編集などに関する技術的・実務的なアドバイスとサポートを行った

6.3 英語による修士課程入試サポート

- ・ 学生係と連携した入試関連資料の英文校正
- ・ 企画・広報係と連携した大学院課程紹介関連資料の英文校正

6.4 留学生リクルート

2022年	4月14日	第1回九州大学大学院留学フェア 参加者110名(分科会13名)
	9月30日	北海道大学主催 サブサハラ・アフリカ留学フェア 参加者6名
	10月17日	岡山大学主催 ミャンマーの日本留学事情オンライン説明会
	10月21日	名古屋大学主催 ウズベキスタン留学フェア 参加者28名
	10月28日	第2回九州大学大学院留学フェア 参加者108名(分科会14名)
2023年	2月26日	北海道大学主催 サブサハラ・アフリカ 留学フェア 参加者15名



▲ 留学生フェアの告知用イメージ等



▲ 英語授業紹介動画(デザインと日本B)

7 芸術工学インターナショナル・ウインタースクール 2022

海外の学部生・大学院生向けの短期受入れプログラムの新規立ち上げ

<https://www.design.kyushu-u.ac.jp/topics/15828/>

目的

- ・ 海外からの受講生が芸術工学府における教育や研究を理解し、彼らの知識や経験を広げるためのデザイン分野における国際交流の機会を提供すること
- ・ 教員が海外からの受講生に指導するなど、コミュニケーション手段として英語を使う機会を増やすこと
- ・ 日本語話者ではない留学生をキャンパスや研究室に受け入れることで、日本人学生、及び事務職員の国際的なコミュニケーション能力を向上させ、かつ他国文化の理解を深めること

活動概要

芸術工学インターナショナル・ウインタースクールでは、九州大学大学院芸術工学府と関わりのある海外の大学から学部生・大学院生15名を8日間受入れた。プログラムは、科目履修による講義、配属研究室での研究指導ラボセッション、週末の市内カルチャーツアーによる文化歴史体験を行った。こうした国際的プログラムを継続的に実施することで、世界における芸術工学府の存在感を高め、優秀な留学生の獲得につなげる。

期間

2022年11月14日～21日

参加教員

迫坪 知広 助教、井上 朝雄 准教授、岩元 真明 助教、西村 貴孝 講師、澤井 賢一 助教、平松 千尋 准教授、Leon LOH 助教、Hsin-Ni HO 准教授、Daryl JAMIESON 助教 (講義のみ)

使用言語

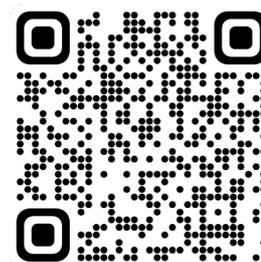
英語

参加者

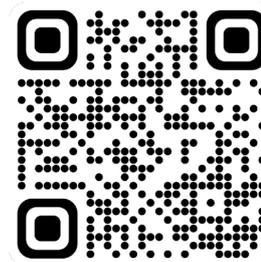
15名 (ガジャ・マダ大学、カンボジア工科大学、国立台湾師範大学、国立台湾大学、シラパコーン大学、ラジャマンガラ工科大学タンヤブリ校、マレーシア科学大学)

参加国

5カ国及び地域 (カンボジア、インドネシア、マレーシア、台湾、タイ)



▲ 記録動画はこちらへ



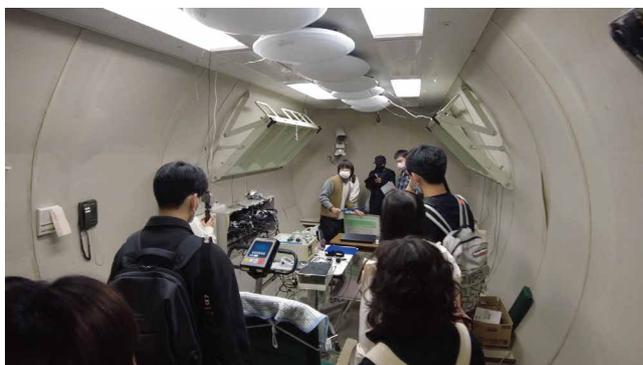
▲ 開催レポートはこちらへ

プログラム内容

- ・ 各専門分野の教員が行う講義 9コマ
- ・ 指導教員の研究を深く理解するためのラボセッション 4日間
- ・ 先進的で多様な研究施設を巡るキャンパスツアー
- ・ 唐津市へのカルチャーツアー
- ・ 成果発表プレゼンテーション

実績 (一部)

- ・ ラボセッションでは、研究内容に沿って参加者の母校にはない機器を使った実践的な研究活動を行った。講義では一般的なレクチャーだけでなく実践的なワークショップなど様々な学習体験を行い、参加者は楽しく学ぶことができた。
- ・ 英語を使う機会を提供することができた。参加学生はもちろんのこと、芸工生にとっても貴重な体験になった。
- ・ 日本留学の動機づけができた。15名の参加者のうち、12名が将来日本に留学したいと述べた。以前から日本への留学を希望していた学生もいれば、プログラム終了後に日本へ留学する意欲を抱いた学生もいた。



▲ 活動様子

▲ ウィンタースクールの各種グッズ

8 国際プログラム・海外留学

8.1 国際プログラム（派遣）

2021年度から開始した芸術工学部2年生対象の留学を促進する教育プログラム



▲ 詳細はこちらへ

目的

国際社会において主体的に活動するために必要な姿勢、態度、コミュニケーション能力を身につけ、かつ専門的なデザインの知識・能力と自国についてのアイデンティティをもった人材を育成することを目的とする。

担当教員

Leon LOH 助教、Michael HALL 准教授、
稲村 徳州 助教、池田 美奈子 准教授、
下村 萌 助教

参加人数（第2期）

10名

学部1年生向けのガイダンス実施 | 開催日

2022年4月7日（木）

学部2年生向けの説明会実施 | 開催日

2022年4月6日（水） | 参加人数30名

実施内容

- 第1期生実績：JASSO海外留学支援制度のもと、南洋理工大学へ1名、ケルン応用科学大学へ2名、ミラノ工科大学へ1名が留学した。
- 第2期生実績：多くは留学準備段階であるが、JASSO海外留学支援制度のもと、アムステルダム応用科学大学に1名が留学中。

国際プログラム科目開講

- Start-ups and Global Disruptors (学部2年夏学期)
- Global Design Innovation (学部2年夏学期)
- Design Pitching Skills (学部2年秋学期)
- Intellectual Property Rights: Global Perspective (学部2年冬学期)

履修生の留学のための取組み

英語スキルの向上支援

- 留学生による外国語試験（TOEFL、IELTS）対策支援：テキスト配布
- 英語レッスン：留学生チューターとマンツーマンのリスニング/スピーキングレッスン、開催回数25回（延べ）
- 外国語試験検定料（TOEFL、IELTS等）一部助成、6名
- 英語でのコミュニケーションに慣れるために、ミーティングやグループワークは全て英語で行い、学生たちは自信をもって積極的なコミュニケーションができるようになった。

留学モチベーションの向上

- 履修生と教員が留学や異文化理解、進路などについて語り合うお茶会を設け、気軽に英語で交流しながら国際理解を深めた。
- Leon LOH 助教とグローバル学生交流センターが履修生と個別面談を行い、交換留学の計画について個別にアドバイスをし、留学希望先に提出する志望理由書やポートフォリオなどの指導を行った。



▲ 担当教員と履修生との交流

8.2 オンライン交換留学申請 DX（受入）

九州大学では部局初の試みとして、留学生の交換留学申請の出願や事務手続きをDX化し、効率化を実現した。

概要

今年度より、部局間学生交流協定校からの交換留学生を対象としたオンライン交換留学申請システムの運用を開始した。芸術工学部・大学院芸術工学府への交換留学希望者は、このシステムから応募申請することで、必要書類の提出や、留学許可証や成績証明書のダウンロードも可能となる。留学生の申請がスムーズになるだけでなく、事務手続きも簡素化される画期的な取組みである。この申請システムはGeiko Global ウェブサイトの“交換留学プログラム”からアクセスできる。

▲ オンライン交換留学申請システム

8.3 交換留学実績

* 国際プログラム履修生

受入	銘伝大学（台湾）	2名	ストラテジックデザイン部門 未来共生デザイン
	HKUユトレヒト芸術大学（オランダ）	1名	ストラテジックデザイン
	アールト大学（フィンランド）	1名	環境設計
	ダルムシュタット科学技術大学（ドイツ）	4名	環境設計、未来共生
	ケルン応用科学大学（ドイツ）	1名	未来共生
	大連理工大学（中国）	2名	ストラテジックデザイン
	パリ・ラ・ヴィレット建築大学（フランス）	2名	環境設計
	ボルドー建築景観学院（フランス／大学間）	3名	環境設計
	華南理工大学（中国／大学間）	1名	環境設計
	国立清華大学（台湾／大学間）	1名	メディアデザイン
派遣	南洋理工大学（シンガポール）※初派遣	2名	ストラテジックデザインコース* メディアデザインコース
	ケルン応用科学大学（ドイツ）	2名	未来構想デザインコース*
	ミラノ工科大学（イタリア）	2名	インダストリアルデザインコース* 環境遺産デザインコース
	アムステルダム応用科学大学（オランダ）	1名	未来構想デザインコース*
	アールト大学（フィンランド）	1名	環境設計コース
	ダルムシュタット科学技術大学（ドイツ）	1名	芸術情報設計学科
	国立成功大学（台湾）	1名	環境・遺産デザインコース
	蔚山科学技術大学校（韓国）	1名	未来構想デザインコース

9 留学生サポート

9.1 留学生面談

目的

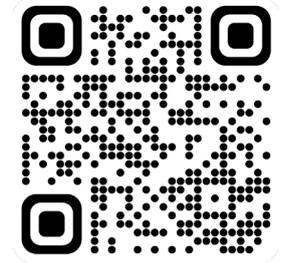
留学理由や生活支援、日本にどのような自国出身同士のネットワークがあるかなどの状況を確認し、学内の改善策を検討・実施するとともに、今後の留学生サポートの充実を図ることを目的とする。

面接人数

15名（修士課程3名、博士課程7名、研究生5名）

実績（一部）

- 大橋キャンパスの食堂・生協ともにハラルフードを提供していなかったため、イスラム圏出身の留学生は、毎日お弁当を持参する必要があった。2022年12月20日に冷凍ハラル弁当試食会を実施し、2023年1月末より、生協で購入できるようになった。
- 次年度新入留学生向けのキャンパスツアーを企画する。



▲ ハラルフードプロジェクト

9.2 芸工サポーター運営、国際交流イベント実施

概要

芸工サポーターは、留学生が日本での生活をスムーズに始められるようサポートする芸術工学部局の特別な学生チームである。今年度は19名の芸工サポーターが活躍した。留学生に日本のことをよく知ってもらうために、サポーターが企画してWelcome Party、門司港・下関へのフィールドトリップを実施した。留学生とサポーターが交流し、親睦を深める非常に良い機会となった。

サポーター人数

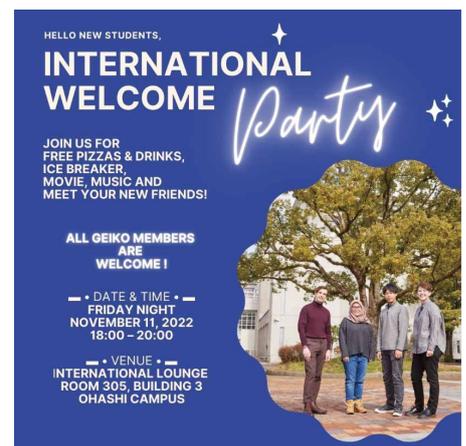
19名（うち留学生7名）

実績

- 新入留学生の来日時の諸手続きサポート：
 - 前期：新規来日留学生45名／サポーター延べ21名
 - 後期：新入留学生30名／サポーター延べ9名
- 国際交流イベントの開催：
 - 留学生オリエンテーション、歓迎会を開催
- フィールドトリップ（門司港、唐津城）の実施：計2回
参加人数38名（延べ）
- 学内向け広報：日英併記、中国語のポスターなどを作成



▲ 冷凍ハラル弁当試食会を実施



▲ 留学生歓迎会開催案内

9.3 帰国留学生ネットワークの構築

目的

- 学術系帰国留学生ネットワーキング会議の開催、海外大学に就職した卒業生の情報収集、お互いの研究や興味のある教育テーマに沿って議論を行う。
- 卒業留学生に芸術工学府の魅力を各国の学生へ紹介してもらうことで、より多くの優秀な留学生を芸術工学府へ集める。

参加大学

大連理工大学（中国）、山東服装職業学院（中国）、河南工業大学（中国）

実績

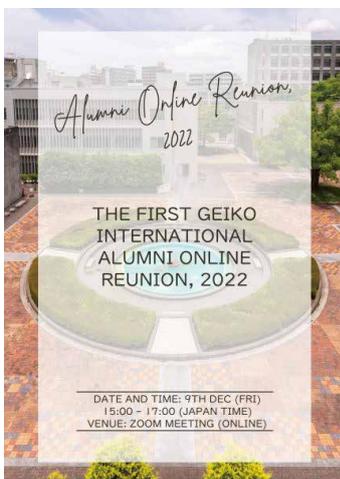
- 2022年12月9日学術系帰国留学生ネットワーキング会議「Geiko Reunion」をオンラインで開催し、8名が参加した。
- 今後の芸術工学府とのコラボレーションの実現に向けて、ポストコロナにおける対面でのデザインワークショップの開催や、共同研究プロジェクトの実施、研究発表会の実施などについて意見を交わした。



▲ フィールドトリップ（門司港）



▲ 陶器への絵付け体験



▲ 帰国留学生ネットワーキング会議開催案内

10 国際化への取り組み：大学改革活性化制度 「デザインと日本」英語による科目シリーズ開講

日本デザインの創造、国際発信できる人材を育成する教育プログラム

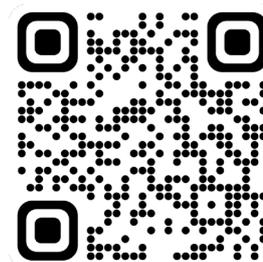
10.1 概要

令和4年度大学改革活性化制度「日本デザインを創造し、国際発信できる人材育成のための教育プログラムの構築」の改革計画は、実施体制とノウハウを含め、2020年度から開始した「デザインと日本」の展開拡充の延長線上にある。2022年度から2023年度にかけて大学院改組のカリキュラムに組み込まれているPBL形式の実践的な授業「デザインと日本A、B、C」の3科目が開講される。日本デザイン教育プログラムの実施により、日本人学生及び留学生が、日本の伝統から現代までの美意識に関する理解を深め、そこで得た知識や姿勢をもとに、将来的に革新的なデザインやアートを創造し、さらにその普及と発展を担うキュレーションや国際情報発信ができるポテンシャルを育成する。

10.2 「デザインと日本／日本デザインの理解A」（2022年度前期）

授業概要

大学改革活性化制度の事業計画に先立ち、2020年度には芸術工学部・芸術工学府において「デザインと日本」と題して日本デザインに取り組む授業を開講した。この授業は、芸工インターナショナルオフィスが企画から運営までを担い、ハイブリッド授業のノウハウを蓄積し、他の国際的プロジェクトや授業への応用なども試みている。今年度は建築、知覚、絵画、折り紙工学など、さまざまな専門分野の教員が、それぞれの立場から日本のデザインを紹介する講義とワークショップが行われた。



▲ 詳細はこちらへ

期間	前期（2022年4月13日～7月6日）水曜 4 限
担当教員	下村 萌 助教、他
使用言語	英語
履修者	35 名（留学生18名）
参加国	10カ国及び地域（日本、アメリカ、中国、フィンランド、ドイツ、オランダ、インド、インドネシア、セネガル、タイ）

講義内容

日本の建築	加藤 悠希 准教授
エクスカーション「日本の建築」	加藤 悠希 准教授、下村 萌 助教
ユニバーサルデザインとは	張 彦芳 講師
日本のユニバーサルデザイン	張 彦芳 講師
折り紙とエンジニアリングデザイン	齊藤 一哉 准教授
サービスデザイン/イノベーションマネジメント	徳久 悟 准教授
日本デザイン史	池田 美奈子 准教授
日本画に見られる「書き割り」の空間表現	中村 恭子 助教
インスタレーションとメディア	牧野 豊 准教授

実績（一部）

- 履修者は自分の考えを英語で伝えるのが難しいと言っていたが、最終発表会では全員が英語で発表することができ、英語でのコミュニケーションに自信を持てるようになった。
- 履修者は日本人でも知らなかった日本のデザインとその背景にある概念や歴史について深く知ることができ、大変勉強になった。

10.3 「デザインと日本／日本デザインの理解B」 (新規・2022年後期)

授業概要

この科目は、日本のアートとデザインについて、エクスカーションを含む講義とワークショップ形式で実施した。学内の教員に加え、琴・舞踏・香りの現象学の専門家を招き、講義や体験型のセッションを行った。また、履修生はエクスカーションで八女市を訪れ、職人から伝統的な線香の作り方を学んだ。さまざまな学びと実践を経て、履修生たちはグループごとにダンス/アート/音楽作品を制作し、最終発表会「The Sense Festival」で一般公開を行った。展示やパフォーマンスで構成された発表会では、来場者は聴覚・嗅覚・感情など感性の融合や分離を体験した。



▲ 詳細はこちらへ

期間 後期 (2022年10月5日～2023年1月22日) 水曜 4 限
担当教員 Daryl JAMIESON 助教、下村 萌 助教、結城 円 准教授、他
使用言語 英語
履修者 25 名+聴講生4名 (留学生26名)
参加国 9カ国 (日本、ブラジル、中国、フランス、ドイツ、グアテマラ、インドネシア、イラン、ミャンマー)

講義内容

アートと知覚	牧野 豊 准教授
音と構成	Daryl JAMIESON 助教
琴	マグイーン時田 深山氏 (琴演奏家)
香りの現象学	ゲスト講師 Lorenzo MARINUCCI 准教授 (東北大学)
エクスカーション：伝統線香づくり	Daryl JAMIESON 助教、結城 円 准教授、Lorenzo MARINUCCI 准教授、馬場水車場 (線香製粉所)
舞踏と動き	ゲスト講師 浅井 信好氏 (舞踏家)
グループワーク1 - 4 & 一般公開プレゼンテーション	Daryl JAMIESON 助教、結城 円 准教授、下村 萌 助教

実績 (一部)

- 様々な国、文化、デザインスキルを持つ学生が集まり、共通のゴールに向かって話し合い、一緒に作業する中で、学生たちは互いに自分とは異なる視点を得て、充実した学習体験ができた。
- 履修生からは「授業が楽しかった」「日本の違う形の芸術を知ることができて面白い」などの感想が多く寄せられた。



▼ 上 | デザインと日本A授業の様子
下 | デザインと日本B授業の様子
最終発表会ポスター



11 国際化への取り組み： 留学生向けスタジオプロジェクト開講

11.1 産学連携国際演習科目：スタジオプロジェクト・コース融合プロジェクト 国際交流イベントのデザインwithキッサニア福岡

目的

キッサニア福岡との共同授業で、芸術工学府「スタジオプロジェクト」および芸術工学部「融合プロジェクト」の科目として実施。ワークショップへの参加、KCJ GROUPのメンバーとのコラボレーション、グループワークなどを通じて、国際的なコミュニケーションの現場を体験する。国際的なイベントのコンテンツを共同開発することで、異文化対応能力を高めると同時に、イベントの運営やデザインに関する実践的な経験を積むことを目的とする。



▲ 詳細はこちらへ

授業概要

学年も国籍も異なる多様な23名の履修者が、グループに分かれてキッサニア独自のコンテンツ制作手法を学び、キッサニア福岡でのフィールドワークや体験のプロトタイプिंगをしながら高校生や大学生が将来グローバルに働くことについて考える、オリジナルアクティビティをデザインした。

期間	後期（秋、冬学期）木曜 3～4限
担当教員	下村 萌 助教、池田 美奈子 准教授
使用言語	英語
履修者	23名（留学生7名）
参加国	6カ国及び地域（日本、ドイツ、ブラジル、インドネシア、イラン、中国）

実績（一部）

- キッサニア福岡に約60名の高校生・大学生を招き、体験型イベント「Friday Night @ KidZania -ライフシミュレーション2023-」を2023年1月20日(金)に開催した。当日参加した高校生以上の来場者は、学生がデザインしたオリジナルゲームや幻想的な空間体験などのワークショップを楽しんだ。
- 産学連携英語科目の実施



▲ 授業の様子



▲ Friday Night @ KidZania -ライフシミュレーション2023開催風景



11.2 国際演習科目：スタジオプロジェクト I-A、II-A (Inter-Cultural Dialogue 1、2)

留学生と日本人学生が共同で取り組める異文化理解と発信をゴールにする
インターナショナルプロジェクトの開講

目的

- ・ 世界の文化の違いを探索し、異文化理解を促すデザインを立案・実施する。
- ・ 言語を含め、文化の違いに配慮した豊かなコミュニケーションができるようになる。

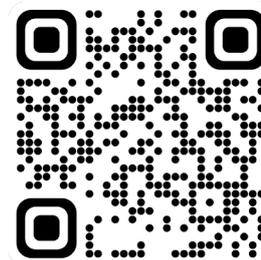
授業概要

留学生と日本人学生が共同で取り組む異文化理解と発信をゴールとするインターナショナルプロジェクトで、履修者の言語によって英語と日本語を使い分けながら進めた。効果的な異文化理解と魅力的な発信方法を考えて実践するという内容である。多様な文化背景を持つ人たちが、それぞれの国の生活などを写真や映像で紹介した。最後に履修者はテーマに添ってデザインした作品を学内の展示会で披露した。

期間 前期（春、夏学期）、金曜3～4限
担当教員 池田 美奈子 准教授、下村 萌 助教
使用言語 英語及び日本語を併用
履修者 11名

実績（一部）

- ・ 学生は3つのグループに分かれ、それぞれ「朝食」「大学」「カレンダー」をテーマに国際比較しながら、動画、冊子、卓上カレンダーなどをデザインした。最後に展示会を開催し、作品紹介を通してさまざまな国からの来場者と対話する場を作ることができた。
- ・ 英語科目の拡充



▲ 詳細はこちらへ



▲ 展示会ポスター



▲ 展示会の様子



▲ 作品紹介
各国大学生の1日調査

実績要約

1.国際パートナーの開拓

協定校の拡充

- ・研究支援係と連携した国際交流協定（エラスムス+プログラムを含む）の手続きサポート（詳細は「主な活動」を参照）
- ・国立成功大学（台湾）とのDD新規締結への準備、DD/JDの調査・検討（詳細は「主な活動」を参照）

情報発信・広報

- ・オンライン留学フェアへの参加5回、日本留学説明会への参加2回（詳細は「主な活動」を参照）
- ・Webサイト・Geiko Globalの情報更新、投稿、英語ページ拡充
- ・芸工インターナショナルオフィスのFacebook、Instagramに英語で海外向けの情報を定期投稿（詳細は「主な活動」を参照）
- ・芸工公式ウェブサイト、Twitter、Facebookへの日英での記事投稿
- ・九州大学Twitter、Facebookへの日英での記事投稿

2.国際化プログラムの開発と運営

授業プログラムの開発（詳細は「主な活動」を参照）

- ・短期受入れプログラム「芸術工学インターナショナル・ウインタースクール」の実施
- ・英語による科目「デザインと日本／日本デザインの理解 A」、「デザインと日本／日本デザインの理解 B」の新設 ※「日本を知るためのプログラム」に登録
- ・国際演習科目「スタジオプロジェクトⅠ-A、Ⅱ-A（Inter-Cultural Dialogue 1、2）の新設
- ・国際演習科目「スタジオプロジェクト・コース融合プロジェクトA、B（国際交流イベントのデザイン withキツザニア福岡）」の新設

国際プログラムの運営（詳細は「主な活動」を参照）

- ・国際プログラム履修登録オンライン申請対応
- ・留学の相談窓口対応
- ・留学前後のサポート（コミュニケーション、海外生活など）
- ・英語テスト受験のサポート（テキスト、英語チューターの手配）（詳細は「主な活動」を参照）
- ・奨学金申請支援（情報提供、申請のサポート）

国際連携教育支援事業（詳細は「主な活動」を参照）

国際協働プロジェクトのサポート

- ・アジアデザイン会議サブイベント3～ポストコロナにおけるデザイン研究と教育～ | 参加人数：33名（国際的な授業内容の紹介）
- ・APRU SDG Education for Global Citizenship（国際共同ワークショップのメンタリング）
- ・アールト大学とのオンライン連携授業Global Design Project（講義）
- ・SDGsインターナショナルデザインアワードのサポート（通訳、情報発信支援など）
- ・工学部連携オンライン留学プログラムELEP ZTO（授業実施、情報発信支援） | 履修者：22名
- ・アジアデザイン会議 | 参加人数：23名（7カ国・地域）（芸術工学研究院の紹介）
- ・第3回社会包摂デザイン研究会「共生」（国際化の取り組み紹介）

大学改革活性化制度「日本デザインを創造し国際発信できる人材育成のための教育プログラムの構築」
 関連プロジェクトのサポート（運営、情報発信支援など）

- ・アーティスト 澤田知子によるワークショップ | 参加人数：45名
- ・アーティスト ヴェンデルリン・ファン・オルデンボルフ上映会 | 参加人数：70名
- ・アーティスト カリナ・ニマーファルによるワークショップ | 参加人数：30名
- ・工房・寂 現代音楽シリーズ「庭」第3回公演 河原院 公開リハーサル | 浅井信好、竹元聖子
- ・「鍵盤三景」3回シリーズ 演奏会及び発表会・ディスカッション | 八坂公洋、西岡伶奈、松宮圭太、安野太郎 他

3.国際化の環境整備

学生対応（派遣）

- ・交換留学（派遣）相談人数30名（学部生21名、大学院生9名）
- ・芸術工学部局海外留学説明会の開催、年3回
 第1回：9月5日 | 内容：協定校のブースを設け、自由に聞きに行けるように実施 | 参加人数20名
 第2回：1月30日 | 内容：協定校のブースを設け、自由に聞きに行けるように実施 | 参加人数7名
 第3回：2月6日 | 内容：アールト大学・アムステルダム応用科学大学の説明会 | 参加人数5名
- ・トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム説明会の実施
- ・留学・留学生ノミネートのオンライン申請システム運用開始（詳細は「主な活動」を参照）

学生対応（受入）

- ・留学生面談実施、参加人数：15名（詳細は「主な活動」を参照）
- ・学務課と連携した受入れ体制強化
- ・学生が主体となり日本人と留学生の交流促進イベントや留学生支援を企画運営する「芸工サポーター」の運営（詳細は「主な活動」を参照）
- ・新入留学生に「芸工サポーター」を手配
- ・在籍留学生（未入国者含む）向けのWhatsAppグループを留学生と連携運営、参加人数：55名
- ・在籍留学生、交換留学生、日本人学生間の交流活動を実施（詳細は下記参照）

活動名	開催日程	実施内容	参加人数
留学生オリエンテーション	10月12日	日常生活に必要な情報の提供と南警察署からの安全と防犯のガイダンスを実施した。	27名
新入留学生歓迎会	4月28日	英語でフルーツバスケットやジェスチャーゲームを実施した。	26名
	11月11日	お寿司やピザを食べながら交流を深めた。	30名
フィールドトリップ	8月6日	明治から昭和初期の建物が残る門司港エリアや下関の唐戸市場を巡り、国際交流を深めた。	26名
	12月17日	唐津城を観光し、陶器への絵付け体験や鏡山に登って美しい景色を見たりして、日本の伝統文化に触れる機会を留学生に提供した。	12名

学内整備

- ・大学院教育の二言語化を促進するための部局内公募「英語化支援」の実施、採択2件（詳細は「主な活動」を参照）
- ・留学生、外国人教員のための環境整備を目指し便覧、様式等書類の英語化（詳細は「主な活動」を参照）
- ・芸工インターナショナルオフィスの活動をまとめた年間報告書の発行（2022年3月）
- ・芸術工学部局内の教職員向けのニュースレター発行、2022年8月、2022年12月（ウインタースクール特別版）
- ・表敬訪問の対応、年5件（詳細は「主な活動」を参照）
- ・学生ガイドによるキャンパスツアーの構築

帰国留学生ネットワーク

- ・卒業留学生の進路調査実施
- ・学術系帰国留学生ネットワーク会議開催
- ・オンラインネットワーキング（Facebookグループ）運用

大学院入試の国際化推進

- ・学生係と連携した入試関連資料の英文校正
- ・海外リクルート広報活動（SNS投稿・広告、ビデオ制作、留学フェアの学生アルバイト手配）（詳細は「主な活動」を参照）

4. 国際向け情報発信のクオリティコントロール

- ・学府改組による入試広報支援（詳細は「主な活動」を参照）
- ・キャンパス案内の英文校正
- ・芸術工学部公式Webウェブサイトの英文校正
- ・芸工広報リソース：部局紹介スライドの更新
- ・Geiko Globalウェブサイトの改修・運営・更新
- ・交換留学申請ウェブサイトの改修・運営・更新

5. 国際関連予算確保

- ・各種申請書類の作成
- ・各種国際プロジェクトの予算管理
- ・新規予算申請
- ・事務手続きのサポート（ASKシステム、旅費システム、業務委託、謝金など）
- ・申請書類作成補助

6. その他

- ・国際推進室との情報共有
- ・国際推進室合同ミーティング（年4回）参加
- ・国際推進室部局訪問の対応（7月14日）